

Green Age vol.79

2021.3月号
1面…第72回鹿児島高等学校卒業式／
第72回卒業生賞状授与式／
1日遠足
2面…Sci/学びのヒント
3面…部活動の活躍
4面…かけはし/行事予定

鹿児島高校新聞・グリーンエイジ / 第79号

【編集・発行】学校法人 津曲学園 鹿児島高等学校 企画広報部 / 〒890-0042 鹿児島市薬師1丁目21-9 / TEL.099-255-3211 / FAX.099-258-0080

かけはし / 3月号

3月4日(木)、5日(金)の2日間にわたってクラスマッチが行われました。天候やコロナ等の影響で例年とは違った形でしたが、無事行うことができ嬉しく思います。各クラス白熱した戦いを繰り広げ、応援にも一段と力が入っていました。今年度最後の行事、クラスでの良い思い出となりました。ご協力ありがとうございました。

以下に今回のクラスマッチの結果を記録します。

試合結果

男子サッカー

1年		
1位	1F4	
2位	1J1	
3位	1F2・1F7	

2年		
1位	2F8	
2位	2F4	
3位	2J3・2F5	

女子バレー

1年		
1位	1J3	
2位	1F3	
3位	1F6・1T1	

2年		
1位	2J1	
2位	2F8	
3位	2F9・2J4	

男女オセロ

1年		
1位	1E2	
2位	1J3	
3位	1J2・1J1	

2年		
1位	2F2	
2位	2T1	
3位	2E2・2F1	

混合バドミントン

1年		
1位	1J2	
2位	1F4	
3位	1J5・1E2	

2年		
1位	2J1	
2位	2J2	
3位	2F9・2E1	

混合バレー

1年		
1位	1J3	
2位	1E2	
3位	1J2・1T1	

2年		
1位	2F4	
2位	2F6	
3位	2E2・2J1	

第72回鹿児島高等学校卒業式

3月1日(月)、第72回鹿児島高等学校卒業式が挙行政され、普通科269名、英数科64名、情報ビジネス科150名、計483名の3年生が卒業を迎えました。

保護者や職員の温かい拍手に迎えられて入場した後、各クラスの総代に卒業証書が授与されました。徳丸喜代志校長は式辞として、「自分の存在意義を即答できるような高校生活を送ってほしい」と願い、3年間見守り接してきた。規則や礼儀の煩雑さに耐え、信頼できる友や師と対話しながら協同し学んできたことが今に繋がっている。深淵の意気のもと、盛り上がる力を見せ、花香る未来へ繋げてほしい」と述べられました。在校生を代表して、三弧会会長の西村透子さん(2F1城西中)が「先輩方の実行力など、たくさん学ばせてもらった。困難があろうとも3年間で得た知識や仲間がきつと役に立ち、支えになっていく。築き上げてきた伝統をしっかり受け継いでいきたい」とはなむけの言葉を贈り、卒業生を代表して洞高真くん(3F8吉野中)が「この1年、急激な変化を迎えたからこそ、普通に生活できることのありがたさや支えてくれる人がいることを強く実感することができた。鹿高での出会いや学びは、壁にぶつかっても乗り越えていける糧となる。友人、先生、家族に感謝している」と答辞を述べました。最後に、高校生活最後となる校歌を



聴き、式は幕を下ろしました。

式の後には各クラスにて最後のホームルームが行われ、担任から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。卒業生は3年間の振り返り、クラスメイトや先生、保護者の方への感謝を述べ、別れを惜しみつつも未来への期待に輝かしい表情を浮かべていました。英数科では屋上でバレーボールが青空に高く昇っていく様子は卒業生の明るい未来を象徴しているかのようでした。

第72回卒業生賞状授与式

2月27日(土)、本校体育館にて賞状授与式が挙行政されました。鹿児島県知事賞、鹿児島市長賞、全国商業高等学校協会賞をはじめとする学業や部活動の功績を称える賞を授与しました。在校生も1年後、2年後の自分たちの姿を想像しながら、今後の学校生活を充実したものにするよう励んでくれることと思います。来年度もまた、多くの賞を授与できることを願っています。

1日遠足

3月12日(金)、1日遠足がありました。天候が心配されましたが、時折雨がぱらつく程度で、生徒たちはそれぞれの場所で見学を楽しんでいました。クラスの仲を深められる良い思い出となりました。行き先は次の通りです。



- 1年普通科……………高千穂牧場
- 1年情報ビジネス科・2年英数科……………平川動物公園
- 1年英数科……………霧島アートの森
- 2年普通科……………吹上浜海浜公園
- 2年情報ビジネス科……………仙巖園・健康の森公園・企業研修

3月・4月の行事予定

3月		4月	
25	木	1	木
26	金	2	金
27	土	3	土
28	日	4	日
29	月	5	月
30	火	6	火
31	水	7	水
		8	木
		9	金
		10	土
		11	日
		12	月
		13	火
		14	水
		15	木
		16	金
		17	土
		18	日
		19	月
		20	火
		21	水
		22	木
		23	金
		24	土
		25	日
		26	月
		27	火
		28	水
		29	木
		30	金
		31	土

ホームページでカラーバージョンのGreenAgeを公開中! <http://www.kagoshima-h.ed.jp/magazine.php>

グリーンエイジ
Green Age
~可能性の世代~

greenとは、「未熟な、まだ完全でない」ことを示し、「これからの可能性に満ち溢れている」ということを表す言葉です。そんなgreenな若者たちを、「グリーンエイジ」と呼びます。また、greenには「環境にやさしく、目にやさしい」とも言われており、「やさしさ」をイメージしています。「夢いっぱいの子供たち」にマッチした、この「GreenAge」をよろしくお祈りします。



Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語、science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

令和3年度大学選抜を振りかえる

本校受験生の対応

3月12日、令和3年度大学入試の国公立大学後期試験が行われた。若干の大学を除いて、令和3年度大学入試選抜試験がフィナーレを迎えたこととなる。本年度の入試は「戦後最大」といわれる教育改革の目玉となる新入試制度導入の初年度にあたり、本年度の卒業生たちは高校入試時点から様々な情報に翻弄された。特に2年次から、受験日程の設定、センター試験廃止と大学入学共通テスト実施、記述式導入、英語の外部認定資格取得など、新入試制度の変更点が具体的に示され、学校及び受験生はそれぞれ対応に迫られることとなる。そして、2年次年度末に決定した記述式導入と英語外部検定資格の見送り決定は受験生を不安にさせ、さらに、追い打ちをかけたのが、新型コロナウイルス感染症拡大であった。

本校生徒の対応は、大きく2つに分かれた。1つは様々な入試形態をうまく活用し、受験機会を増やす対応である。近年、学力総合評価の観点より、総合型(旧AO)・学校選抜型(旧推薦型)の募集定員は増加傾向にあり、昨年度は受験生も過去最高となった。その流れの中で、受験生は、出願時期の早い、総合型(9月1日)出願、ただし、本年度は9月15日)受験、結果次第では、次の学校選抜型(11月1日)出願受験、最後のチャンスとして、一般選抜(12月以降出願)という大学を絞りつつ、さまざまな受験形態に合わせた学力を修得していった。この対応のメリットは、希望大学に対して、早い時期で合格を獲得できる可能性がある(本年度、総合型学校推薦受験生は昨年を更新)。しかし、一方で、受験には広範な学力が必要となり、しかも多くの総合型学校推薦型は専願合格したら必ず進学しなければならぬという点がある。総合型では、講義レポートや口頭試問など実践的な試験が行われる。高校履修教科の基礎学力を活用し、他者に伝えなければなら

ない。学校推薦型では、中堅大学以上の多くは教科試験を実施した。ある中堅大学は教科試験の合格最低点が7割以上である。総合型学校推薦型の募集が拡充したことで必要とされる学力も高くなった。ある受験生は、大学進学希望であったが、9月に総合型受験で失敗、一般選抜に必要な学力に自信がないという理由で、11月には学校推薦型での専門学校進学を決めた。結果として、本年度は例年に比べ、専門学校への進学率が高くなっている。生徒の対応のもう一つが、一般選抜にターゲットを絞る対応である。一般選抜は併願可能(合格しても必ず入学しなくてもよい)なため、いざこざ筆記試験に向けて勉強できる。メリットとしては、準備期間を充分取れることにあるだろう。特に、本年度は、新入試制度元年に加え、新型コロナウイルスによる影響で正式な選抜要項の発表が遅れ、発表後の変更も十分に懸念された。不安定な状況で、前述の実践的な学力評価よりも、比較的オーソドックスな筆記試験対応が容易と判断できた。しかし、入試改革の総合学力評価は一般選抜にも適用される。過去の出題問題をパターン化して解くばかりでなく、各教科の学習事項のより本質的な理解と実践的活用力が求められる。問題(過去問)を解きながら、それ以上を想定して演習を行う必要があった。これは、受験生にとっては精神的に不安を感じたに違いない。新型コロナウイルスの影響もあり、多くの志願者は最終的に安全志向となった。

進路と受験方法について決断した。本当の意味で受験に必要なことはこうした判断力と決断力であろう。 進学指導主任・西村浩一

令和3年入試 (学校推薦型公募制・総合型・一般)の主な結果 (延べ人数)
◆国公立大学(学部).....43名
◆公立短期大学.....16名
◆私立大(指定校推薦を除く).....185名

学びのヒント

失敗と挫折から学ぶ

宮内 理沙

皆さんは幼いころからの夢はありますか? 私は小学生の頃から教師になることが夢でした。8人兄弟の次女として育ち、生活は苦しかったですが、周りの人たちが本当に大好きで、毎日楽しい生活を送っていました。 中学では学業も本格的に頑張ろうと意気込んでいましたが、黒板も人の顔も見えないほど視力が弱かったため、一番前の席に座り耳で授業を聞きノートを友人に見せてもらい、授業に挑みました。しかし、努力を続けても成績は下がりました。眼鏡を購入してほしいとお願ひすることも出来ず、その期間で私は夢も諦め自由に楽しもうと考えがちでした。毎日、自分の好きなことをして送る生活は幸せではありましたが寂しさも「正直」ありました。 高校は商業高校へ進学し、そこで私を変えてくれる友人や教師と出会いました。人との関係を断とうとしていた私に積極的に話しかけてくる友人、熱心に指導してくださる先生たちと出会い、私はまた少しだけ明るく元気になりました。部活は、なりゆきで商業系の部活に入部。資格取得だけでなく、販売実習などもあり商業の楽しさを経験しました。様々な人たちの関わりの中で自分自身の価値観の狭さと現実から逃げていたことが気が付きました。そして、一度、教師を目指そうと決心しました。家族から大学進学は反対されましたが、何度もう説得しました。母が病気で倒れ、進学を諦めかけたこともありましたが、そんな時に、恩師は私の為に毎日メールで小論文指導をし、夏休みの課外は送迎までしてくれました。そんな熱心な恩師のおかげで、いま私は教師として働いています。 人は、壁に挑むとき失敗や挫折をすることがあります。誰かの助けを借りても、その一つ一つを乗り越えなければ、誰よりも強く優しくなれると思いません。目の前には壁から目を背けるのではなく、将来自分がどうありたいのか想像してみよう。今いる場所や環境は関係ありません。自分が夢に向かってどう行動していくかが大切です。教師となっても、悩むことが多くあり、その中で「行儀は我に存す。毀誉は他人の主張、我に与らず我に閑せずと存じ候」という勝海舟の言葉をもらいました。私も社会人としては駆け出しで、自信を持っていくわけではありません。多くの出会いから様々な事を学び吸収し、自分の信念をしっかりと持って、前へ進んでいます。高校時代、支えてくれた恩師のように今度は君たちを全力で支えていくために私自身も成長し続けます。高校生活は短いですが、様々なことに挑戦し、失敗や挫折をしても、そこから学んで夢を掴みとってください。

部活動の活躍

フエンスシング部 1月10日

JOCジュニアオリンピックカップ全国大会 [U-19男子フルレ]

準優勝 林祥連(3J4 甲南中)

卓球部 1月19日

鹿児島市高等学校卓球大会 [女子団体1部]

- 第2位 山口藍加(2F6 紫原中) 野上有咲(2F3 鴨池中) 川畑花心(2J5 鴨池中) 日高想乃咲(1F5 志布志中) 大道琴音(1J2 東谷山中) 村永華音(1J4 東谷山中)

サッカー部 1月22日

第42回鹿児島県高等学校 新人体育大会男子サッカー競技大会

第3位

水泳部 1月24日

第13回鹿児島スィムフェスティバル

- 第1位 片ノ坂俊介(1EE1 桜丘中) 加塩 佑海(1EE1 国分南中) 金野 隆之介(2J4 吉野東中) 南谷 輝人(2F8 吉野東中) [男子4x50mフリーレ]

- 第1位 高橋 叶和(1F3 西陵中) 片ノ坂俊介(1EE1 桜丘中) 西堀 夏生(1F3 鹿大附属中) 濱田 航士朗(1F7 吉野中) [女子4x50mメドレーレ]

- 第1位 片岡 ミミ(1F4 鴨池中) 北園 祐希(2J1 南指宿中) 黒木 梨々夏(2F4 南中) 山下 愛琳(1F5 吾平中) [男子100m自由形] 第1位 南谷 輝人(2F8 吉野東中)

- [男子50m自由形] 第1位 南谷 輝人(2F8 吉野東中) [男子50m平泳ぎ] 第1位 南谷 輝人(2F8 吉野東中) [女子100m平泳ぎ] 第1位 北園 祐希(2J1 南指宿中) [女子50m平泳ぎ] 第1位 北園 祐希(2J1 南指宿中) [女子50m自由形] 第1位 黒木 梨々夏(2F4 南中) [女子100mバタフライ] 第1位 片岡 ミミ(1F4 鴨池中) [女子50mバタフライ] 第1位 片岡 ミミ(1F4 鴨池中) [男子200m個人メドレー] 第1位 片岡 ミミ(1F4 鴨池中) [男子100mバタフライ] 第3位 金野 隆之介(2J4 吉野東中) [男子100mバタフライ] 第3位 片ノ坂俊介(1EE1 桜丘中) [男子200m個人メドレー] 第3位 加塩 佑海(1EE1 国分南中) [男子50mバタフライ]

駅伝部 1月31日

第34回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会

- 優勝 1区 宇都ひなた(2J1 伊敷中) 区間5位 5区 坂元葵衣(2F3 南中) 区間1位

2月6日 鹿児島県高等学校新人駅伝競走大会

- 準優勝 [男子] 1区 早稲田 連(2J1 甲東中) 2区 池下 立樹(2F8 伊敷中) 3区 今村 悠(2J1 吉野東中) 4区 久保 俊翔(1F2 帖佐中) 5区 西迫 和希(2F7 東谷山中) 6区 岩崎 海斗(2EE1 重富中) [女子] 1区 宇都ひなた(2J1 伊敷中) 2区 坂元 葵衣(2F3 南中) 3区 鍛冶屋 朋華(1J5 生冠中) 4区 藤元 あみ(1J4 城西中)

演劇部 2月12日

第29回鹿児島県高等学校演劇冬季県大会

優良賞 アイデア賞

男子ソフトテニス部 1月31日

第7回鹿児島県シングルスソフトテニス大会

- 第3位 大久保 悠汰(2F5 日当山中) [一般男子の部]

鹿児島県高校春季ソフトテニス大会

- 優勝 亀井 駿平(2F3 日当山中) 坂口 仁(2J5 吉野中) 岩元 桐生(2J2 吉野中) 大久保 悠汰(2F5 日当山中) 内匠屋 源太(2F5 垂水中央中) 中島 清貴(2F7 垂水中央中) [個人戦 シングルス]

第3位 上之段 勇弥(2J1 細山田中)

バドミントン部

第1回鹿児島バドミントン特別大会2020

- 第3位 鹿児島高校A 鹿児島高校B 山ノ内 奈々美(2J4 城西中) 境田 妃莉(1EE2 日当山中) 松田 瑠子(1F3 単人中) 濱田 杏樹(1J1 谷山北中) 原田 真紘(1EE1 桜丘中) 鹿児島高校B 糸井 友希(3J1 吉野中) 南百香(3J3 皇徳寺中) 榎本 あかり(3F8 城西中) 横道 葵(3J2 桜丘中) 宮崎 海星(3J4 谷山中)

吹奏楽部 2月20日

鹿児島県録音アンサンブルコンテスト

- 金賞 松山 晶(2F2 西陵中) 平山 愛花(2F7 谷山北中) 森永 彩愛(1F7 長田中) 鎌田 菜帆子(1F1 天保山中)

書道部

第59回ひな祭り書道展

第42回ふれあい書道展

- 特選 平田 幸陽子(2EE1 志布志中) 宮之原 紀香(2F1 城西中) 西浦 未華(2EE1 鹿大附属中) 川添 美波(2F7 鷹巣中) 鮫島 里奈(2F4 谷山北中) 西ひかる(1EE1 鹿大附属中)

その他の活動

- 2月13日 第5回高校生よかアイデアコンテスト [チーム鹿高] 優秀賞 伊東 慧哉(2ET1 城西中) 田畑 匠輝(2ET1 西紫原中) [ジオサールマル隊] 佳作 肥後 有紗(3F6 星峯中) 青柳 凜香(3F6 南中) 古多部 慈乃(3F7 南中) 3月14日 第23回若き音楽家たちのコンサート 宝山賞 パスカル 鳳空(2ET1 山川中)

離任される先生から鹿高のみなさんへ

～3月で離任される先生方にコメントをいただきました。～

①鹿高での在職年数 ②鹿高での思い出 ③鹿高生へメッセージ



櫛山 美好先生
(商業科)

- ①17年
- ②すべて
- ③克己・謙虚・礼節を忘れずに、毎日毎日を精一杯過ごしてください。



藤井 和隆先生
(数学科)

- ①8年
- ②本校の生徒は、とにかく元気がある。朝から元気な挨拶をして、勉強や部活動に一生懸命頑張っている。その姿に私は、毎日元気をもらった。教師として、楽しい幸せな学校生活を過ごさせてもらい、皆さんとの出会いに、感謝したい。
- ③皆さんは、これから就職あるいは進学と、それぞれが選んだ道を歩んでいく。確かな道を見つけ、逆境に立っても、くじけず頑張ってください。前途洋々たる君らに、どんな時にも前向きに進んでくれるよう心からエールを贈りたい。



下島 久雄先生
(英語科)

- ①7年
- ②緑丘中学校の緑色のジャージを着せられて、体育祭の出身中別リレーに最終ランナーの生徒と一緒に走ったことは楽しい思い出の一つです。
- ③(校長先生のフリーズの一部を借りて)明るく積極的で、機嫌よく一日一日を大切に過ごしてください

- ①1年
- ②毎日です!!「今日」という一日を楽しく過ごしているからです。
- ③素敵な高校生活を過ごしてください。Enjoy!! smile!! 夢にときめけ～!



小倉 希望先生
(保健体育科)



田北 圭吾先生
(地歴公民科)

- ①1年
- ②タフな一年でしたが、そんな中、両教頭、堀先生、久木田先生、織田先生をはじめとした先生方とのやり取りと存在感は生涯にわたる財産です。
- ③貴方も私もこの世界の一部です。「世界観」言わば「視野」を広げていけるよう、励んでいこう。



Joanna Chilton先生
(English)

- ①3年
- ②I have loved talking with the students the most. I love when I can talk with a student and see them confidently speaking English. It makes me so happy! I also loved the enthusiasm of the students when we had class together.
- ③Work hard, but not too hard! It is important to make happy memories now while you are young, so please enjoy time with friends and hobbies. Remember you only live once, so make sure you are happy and healthy everyday.

- ①20年
- ②本を読んだ後、楽しそうに感想を話す生徒の姿が微笑ましく、仕事をするうえで励みになりました。
- ③ここ数年、予想のつかないことが起き、過ごしにくい日々が続いています。挫けず前を向いて進んでください。応援しています。



日高 江利子先生
(司書)

- ①6年
- ②硬式野球とサッカーで全校応援があったこと。
- ③目標に向かって頑張ってください。6年間ありがとうございました。



神園 隆志先生
(事務)



挽地 愛実先生
(企画広報部 書記)

- ①4年
- ②鹿高に来て1年目の、野球部とサッカー部の全校応援の興奮は忘れられません。職務では、ハードな体験入学をみんなで乗り切ったこと。アイスやメロンパンを配ったり、扇風機がなくなったりと本当に色々なことがありました。周りの方々のおかげで、楽しく、幸せな毎日でした。ありがとうございます。
- ③自分の好きなものや、楽しいと感じる気持ちを大切にしよう!辛い時、悲しい時、ワクワクすることは生きる原動力になります。健康第一で元気にいきましょう。

